都議会民主党レポート
●尾崎都議の政策と活動を紹介します●

都議会民主党政策調査会
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL:03-5320-7230　FAX:03-5388-1784

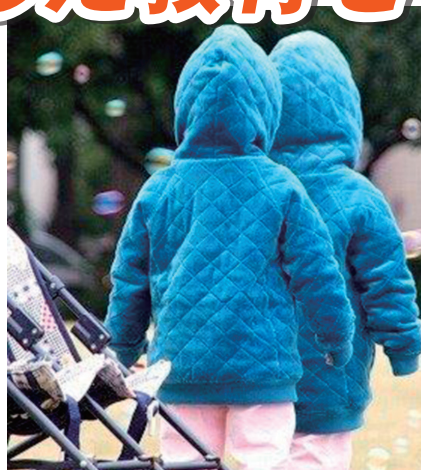
2014
冬号

東京都議会議員

尾崎大介

●尾崎大介プロフィール● 昭和49年生まれ。日本大学農獣医学部卒。衆議院公設第一秘書を経て、平成17年に北多摩第三選挙区（調布市・狛江市）より都議選に初当選。財政委員会副委員長、都議会民主党総務会副会長、都市整備委員会委員長、環境・建設委員会理事、警察・消防委員会副委員長、都議会民主党政調会長などを歴任。現在３期目

待機児童の早期解消を図れ！ 危険ドラッグ防止の徹底した教育を



平成26年第3回都議会定例会が、10月3日に閉会しました。

今定例会では、保育施設の整備促進に向けた補正予算や、事故が多発している危険ドラッグへの対策等について、議論を行いました。

都議会民主党は、知事が提案した新たな幼保連携型認定こども園条例をはじめ、東京の都市外交や防災対策、生活困窮者の自立支援策などの課題についても、積極的に質疑・提案を行いました。

皆様には本リポートへのご意見を賜りたく、お願い申し上げます。

危険ドラッグ対策は徹底教育と取締りの強化を

危険ドラッグによる事件が都内で多発しています。

都議会民主党は、取締りの強化はもとより、子どもたちが薬物に手を出さないための徹底した教育が最も重要だと考えています。そこで、子どもたちが安易に薬物に手を出すことのないよう、より一層、危険性を認識させる教育が必要だと訴えました。

都は「これまで以上に指導を徹底する必要がある」との認識を示し、「警視庁などと連携した教員研修を実施し、教育の充実を図る」と答弁しました。

東京の国際化は文化的背景を踏まえて進めよ

羽田、成田の国際線就航都市数は、2020年までに、140に増やす計画となっており、今後ますます外国人旅行者等が増えるものと思われます。

そこで都議会民主党は、互いの文化の違いを受け止め、理解する心をもって、受け入れ環境を充実するよう取り組みを求めました。

都は「宿泊施設に文化や生活習慣などの研修、飲食店などにムスリム旅行者に必要な配慮の普及啓発を実施、また、多言語での観光案内の整備などを引き続き進める」と答弁しました。

竜巻発生など あらゆる角度で想定対策を

竜巻やスーパー台風の上陸など経験のない事態に対して、想定外を想定外としないことが必要です。

2005年のカトリーナでは、ホテルの強化ガラスが割れ水浸しになり、使用不能となりました。

学校の非構造部材耐震化では、強化ガラスは対策の対象外であり、また、災害拠点病院の状況も把握していません。そのため、都議会民主党は、より高度な防災対策に取り組むべきと主張しました。

都は「普及啓発、学校での防災教育等を実施。今年度、『防災ブック』を作成し、これを活用して、都民の災害に対する備えや防災意識の向上等を図る」と答弁しました。

生活困窮家庭の子どもの 健全育成は引き続き充実を

子どもを貧困の連鎖に陥らせないためには、成長期にある子どもに対し、生活習慣の見直しや学習支援事業を行う必要があります。しかし、生活困窮者自立支援法施行で、これらの事業の国庫補助が引き下げられると言われています。

都議会民主党は、引き続き安定的・効果的に事業を実施すべきとして、都の所見を質しました。

都は「現時点で二十三の区市が事業実施の意向であり、今後も区市の取り組みを支援するとともに、国に対し、十分な財政措置を行うよう求める」と答弁しました。

待機児童の早期解消に向け 一層の取組を求める!

舛添知事は、2017年度末までに保育利用児童数を約四万人増やして待機児童を解消する目標を掲げ、3千人分の保育施設を整備する補正予算を提案しました。

一方、東京の待機児童は、4月に8,672人と、都が取り組みを充実させているにも関わらず、過去最高となりました。

都議会民主党は、今後も都内で潜在的な保育需要がさらに顕在化するとともに、子育て家庭の流入や女性の社会進出などで、保育を必要とする子どもたちが更に増え、保育所不足が続くことを懸念しています。そのため、知事に待機児童の解消をより早期に図るべきと訴えました。

さらに、都議会民主党は、保育人材の確保と定着に向けた支援強化や、多様な保育サービスの供給促進を求めました。

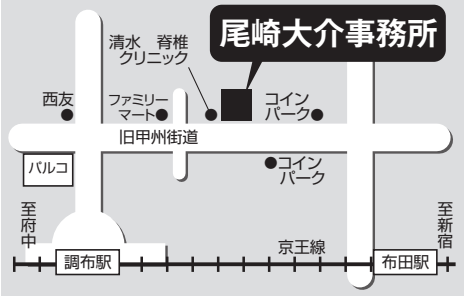
知事は、今回提案した補正予算に加え、「年末の長期ビジョンでは、保育サービスの整備目標と工程表を示す」「保育人材の確保を含めさらなる支援策も盛り込む」と答弁しました。

都政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

大介メール瓦版
ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp
皆さんのご意見お待ちしています

連絡先

尾崎大介事務所

〒182-0024 東京都調布市布田2-30-4
TEL:042-498-8030 FAX:042-498-8030
http://www.ozakidaisuke.com

facebook 随時更新中